

ID: [REDACTED]

氏名: [REDACTED]

検査・治療の簡易包括同意説明文書



☒ HIV (AIDS) の血液検査 (費用は病院が負担します)

検査で病変に針を刺したり、手術で病変を切除する場合には、出血の危険性が少なからずあります。この時の医療者への感染予防のために、患者さんの感染症のチェックは欠かせない検査です。B型肝炎、C型肝炎、梅毒のチェックの他に、当院ではHIV感染のチェックも標準的に行うことにしています。

☒ 針生検、細胞診

病変の確定診断と今後の治療方針を決定するために、病変の組織の一部を、注射針のような細い針を病変に刺して細胞を採取する方法を細胞診と呼びます。また細胞診よりも太い針を使って採取する方法を針生検と呼びます。どちらの手技も病変に針を刺す手技であり、病変の周りには血管や神経など走っています。また病変の奥に肺や肝臓が存在する場合があります。合併症として出血や神経損傷の可能性があり、肺を穿刺した場合には気胸（肺に穴があいて呼吸が苦しくなる症状）などの合併症を起こすことがあります。

☐ 胸水や腹水の穿刺・採取

胸の中や、お腹の中に貯まっている液体を胸水、腹水と呼びます。がんの進行の他、様々な原因で胸水・腹水が貯まり、貯まった液体の量によって、患者さんに多くの不都合な症状が出現します。症状の軽減や、確定診断の目的で貯まった胸水や腹水を体表から穿刺して廃液・採取することがあります。針をさす場合には、主に画像（超音波やCTなど）を用いて行いますが、合併症として出血や、気胸（肺に穴が開く）や、消化管穿孔（胃や腸に穴が開く）などがあります。

☐ 負荷心電図検査

安静時の心電図で異常がなくても、運動で負荷をかけた際に心臓に異常が出現することがあります。大きな手術の前や高齢者の方、安静時の心電図で異常が見つかった方などで必要になる検査です。十分注意をして行いますが、運動などで負荷をかけた際に狭心症などが誘発される可能性があります。

☒ 局所麻酔薬を使用すること

検査の為に管（カメラなど）を通したり、病変を採取するために針を刺したり、手術をする時の痛みを軽減するために、局所麻酔を用いることがあります。ゼリー状のものを塗布したり、液状のものを噴霧したり、細い注射針で局所麻酔薬を注入して知覚を麻痺させて、痛みを感じなくします。ごく稀に患者さん個人の体質によってアレルギーや中毒反応が出る可能性があります。今までに歯科などでアレルギー反応などが出たことのある方は、申し出てください。

☒ 医学教育や研究の目的で検査・治療に関する写真やビデオ撮影、見学などを行うこと

当院は都道府県がん拠点病院として、患者さんに最善な医療を提供するだけでなく、地域の医療者や全国の医療者に標準治療を啓蒙する使命があります。そのために、検査・治療に関する手技のビデオ撮影や見学を行うことがありますが、実際に行う際には再度事前にお知らせいたします。また、撮影したビデオや写真は、あなたのプライバシーの守秘を前提に、学術的な用途以外には使用いたしません。

☒ 検査・治療の際に採取・摘出された試料、画像検査の情報や薬剤使用時の臨床情報を医学研究に使用すること

検査・治療に際して採取・摘出された貴方の血液や標本から必要な検査を行った残りの試料、画像検査の情報、さらに治療の為に使用した薬剤の効果と副作用の情報などを、新しい医学の発展の為に利用させていただくことがあります。利用にあたっては、あなたのプライバシーの守秘を前提に、当がんセンターの倫理審査委員会の承認を得てから利用します。

☐ その他

私は、自分の疾患（病名） _____ について、その病状と、それに関して行う予定である上記の項目（チェック印）の内容と目的、その合併症などについて説明を受け、十分に了解しましたので、これらの検査・治療を受けることに同意します。また、合併症などにより緊急の処置を行う必要が生じた場合、医師が必要と認める処置を行うことについても同意します。

愛知県がんセンター中央病院長殿

以上の項目の内容につき説明を受け十分に理解しましたので、この処置を受けることに同意します。

患者氏名（署名） [REDACTED]

平成 28 年 4 月 5 日

事情により、本人に代わり私が承諾します。

氏名（署名）

患者との続柄 ()

以上の点につき、ご説明しました。

説明年月日

平成 28 年 4 月 5 日

医師（署名）

岩瀬 れい